

総合計画の策定について

1 策定の趣旨

本市では、平成 19 年に長期的な市政運営の基本指針となる高岡市総合計画基本構想を策定し、この間、東海北陸自動車道の全線開通(H20)や高岡開町 400 年(H21)、高岡駅南北自由通路及び高岡駅橋上駅舎の供用開始 (H23)、高岡ステーションビル「curun TAKAOKA」のリニューアルオープン (H26)、能越自動車道の七尾 I C までの開通 (H27) といった大事業が着実に進捗してきている。

そして、平成 27 年 3 月の北陸新幹線の開業は、首都圏からのアクセスを飛躍的に向上させ、北陸が有する地域資源が一躍脚光を浴びることで、地域経済に利する「ひと・モノ・情報」の大きな転換をもたらそうとしている。

一方で、若い世代の都市部への流出や出生率の低下等による人口減少と高齢化の急速な進展は、働き手である生産年齢人口の減少から、経済・産業活動が需要、供給の両面からスパイラル的に縮小していくことが懸念され、将来的には、基幹産業である製造業の「稼ぐ力」が大きく低下し、また、地域の商業機能も大幅に失われる恐れがある。

このような中、新たな計画の策定にあたっては、新幹線開業という追い風を最大限に活かすとともに、基本構想策定以降の社会経済情勢の変化や時代の潮流への的確に対応し、「未来高岡」の実現に向けた新たなステージへと着実に歩みを進めるため、平成 29 年を始期とする基本構想（期間 10 年）を新たに策定する。

2 策定体制

(1) 高岡市総合計画審議会

ア 市長の諮問に応じ、総合的かつ計画的な市政の運営に関し調査、審議の上、答申するとともに、計画等の進捗状況についても調査、審議する。

イ 審議会は、学識経験者、市議会議員、各種関係団体の役員等及び公募による者の計 57 名の委員並びに参加 2 名（議長、副議長）をもって組織する。

ウ 部会の設置

- 総括部会…………… 部会調整
- 文化・地域産業部会… 文化、地域産業
- 交流・観光部会…………… 観光、商業、社会資本整備
- ひとづくり部会…………… 子育て、教育・生涯学習・スポーツ
- 安全・安心部会…………… 保健・医療・福祉、共創、防災、生活、環境、男女平等

(2) 「未来高岡」創生本部

ア 審議会の調査審議に資するため、庁内組織として「未来高岡」創生本部（本部長：市長）を設置する。

イ 「未来高岡」創生本部の中にフレーム検討部会（人口フレーム部会、財政フレーム部会、土地利用部会）を設置する。

ウ 本部員は、審議会の幹事として総会、関係部会に出席する。

3 市民意識の集約

(1) 市民アンケート調査

総合計画の策定に資するため、無作為抽出による市民を対象とした「市民アンケート」を実施する。

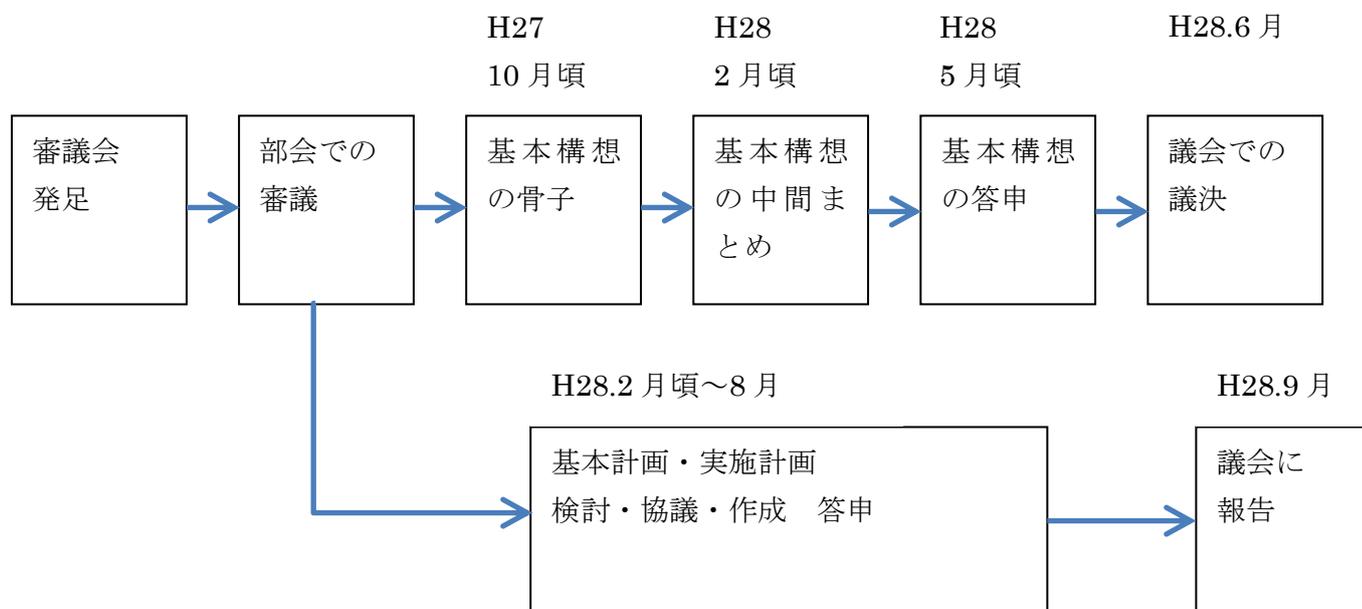
(2) 市民フォーラム

総合計画の策定にあたって、より多くの市民が意見を述べる機会を設けるため、「市民フォーラム（H28 春を予定）」を開催する。

(3) 各種広聴活動で得られた意見、要望等の活用

市長のタウンミーティング、市政モニターなどの各種の広聴活動の際に寄せられた市民の意見、要望等を集約し、審議会の調査、審議に供する。

4 策定スケジュール（案）



(総合計画の構成)

